

私とうろこアート

しょうこ
平田 尚子さん(弓立)



愛媛CATV
動画



▲うろこには表と裏があり、見極めながら丁寧に貼っていきます

“海の芸術作品”

15年ほど前、お姉さんがエソという魚をさばいている時に、落ちたうろこがきれいだと感じて「うろこアート」を始めた平田尚子さん。以前から趣味で押し花をしており、花に色付けをする技術でブダイやエソなどのうろこを着色してブローチや造花、絵などを制作しています。

作業は、自分で魚から取ったり、知り合いからもらったりしたうろこのぬめりや汚れを落とし、乾燥させて特殊な方法で染色を行います。ブローチや造花はうろこを重ねて作り、絵は動物やキャラクターなどの図案にうろこを貼って制作します。

うろこアートは下準備が重要でうろこに傷や汚れがあると、乾燥した際に変形したり、色が馴染まなかったりするので、「準備が上手にできて、自分の思い通りに仕上がったときは、とてもうれしい」と笑顔で語ります。

平田さんは、「楽しみながら制作しつつ、うろこアートに興味を持った方がいたらぜひ教えたい」と今後について話しました。

編集後記

大学生たちの集大成である愛媛大学の卒業論文・修士論文発表会取材しました。

発表は、スマやマダイなどの生産性・品質の向上に向けた研究、赤潮対策などさまざまでした。

また研究の中には、後輩へ引き継がれているものもあり、長年にわたって取り組んでいることに驚きました。

私もより良いものを目指して努力していきます。

Y.O

人生で初めて由良衛所を訪れたのは5年前の大風の日。激しく水しぶきを上げる渡船に揺られ、風裏に隠れて休息をとりました。好天に恵まれた2度目の衛所でしたが、遺構は以前よりも風化の一途をたどっており、時間の流れを痛感しました。

中学生たちは当時の様子を聞き、実際に遺構に触れることで戦争や平和について深く心に刻んでいる様子でした。

M.O



▲絵に厚みを持たせるために、白いうろこで下絵を作ります



▲1つの作品を制作するのに、準備を合わせると丸1日かかります

興味がある方は
(電話：82-0626)に
お問い合わせください。

愛南町の世帯数と人口

令和4年3月1日現在

世帯数	10,064世帯 (-19世帯)
人口	19,990人 (-31人)
男	9,462人 (-31人)
女	10,528人 (±0人)

愛南町の高齢化率 45.4%
※ () 内は前月比

●10年前 同月の人口 24,807人

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

<https://www.town.ainan.ehime.jp/>